

謹賀新年

発行者／京北商工会（広報委員会）
〒601-0251 京都市右京区京北周山町
TEL 075-852-0348 FAX 075-852-1173
<https://keihoku.kyoto-fsci.or.jp>

ぱいぶ

Kihoaku

新年新心
故郷たからを温たずねて
未来たまへ繋つなぐ

年頭ごあいさつ

明けましておめでとうございます。

二〇二四年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は長らく続いたコロナ禍もようやく収束の兆しが見え、京北地域では「京北ふるさとまつり」をはじめ各地で従来型行事が復活しました。本会においても京都市ならびに京都駅ビル開発様のご支援を得て、

昨年八月に京都駅西口広場にて「京北マーチエ」を開催し、特産品を販売いたしました。

また十一月には事業支援という形で「寺マルシェ＆精養司大博覧会」を宝泉寺様境内にて開催致しました。それぞれの企画・運営に際し多数の皆様からご支援、ご協力を賜りましたことに改めてお礼申し上げます。

さて、京北地域及び商工業を取り巻く状況は、長らく円安・物価高騰の影響を受けただけなく、過疎・高齢化の進展の中で、地域内需要だけでは事業経営が難しく、DX化を進めながら多様な地域外ニーズへのアプローチが欠かせないものとなっています。

一方、厳しさを加える商工会運営ですが、一層のスリム化と併せて施策の選択と集中を図りながら、皆様の自立的な経営を応援していくとともに、訪問介護事業を通じて地域福祉の向上にも寄与して参りますので、倍旧のご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

夕焼けのあとには、必ず光が訪れるときれています。

皆様方の今年一年のご健勝とご多幸を祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



京北商工会 会長
矢谷仁史

青年部だより

年頭のあいさつ

京北の皆様、新年あけましておめでとうございます。私は令和五年度から京北商工会青年部部長をさせて頂いております仲井亮文（なかいあきふみ）です。私たち青年部は「仲間の為」「自社の為」「地域の為」を理念にしております。その中でも今年度は「地域の為」に特化して、年度初めから部員全體で自分たちに何が出来るのかを何度も話し合いました。新たな企画を考えるのも良いのですが、既存の文化や資源を活用することも視野に入れ、話し合った結果「京北を知る」「子供美術館」「古道復活」が企画として立案されました。

「京北を知る」は、事業所を京北に置きながら

実は京北の事をあまり知らないことが判明し、京北の為に何かしたいのならまずは知ることから始めようということで、「大人の職場体験」と題して二件の事業所で職場体験をさせて頂きました。約十名の部員が参加し、日ごろとは全く別の仕事の体験ができ、大人ですが子供に返ったかのような無邪気な姿も見られました。地域を知ることで他地域の方への発信材料として体験をもとに伝えられると実感しました。

「子供美術館」は、保育所の絵画展を見たときに子供の芸術性の豊かさに感動を覚え、もっと多くの方々に見てもらいたいということから生まれました。こちらに関しては、他地域で実績があるこれまで調べられたので、来年度以降に現地視察な

どをしてから実現に向けて準備を行っていきます。

「古道復活」は、京北に古くから伝わる古道に注目し、世界に発信することで観光の一部として輝くのではないかとの思いから立案されました。この事業は青年部だけで叶えられるものではなく、京北地域の他団体の方々と連携をお願いし、着実に進めていきたいと思っております。

その他にも京北で開催されるイベントに積極的に参加をするなど「地域の為」を心に刻み、今後も日ごろの感謝の気持ちをお伝えできれば嬉しいです。昨年よりも成長発展に取り組める青年部として精進いたしますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。



京北商工会青年部 部長 仲井亮文

4時間耐久
三輪車レースに
参加！10位と
大健闘 !!



10/9 南丹サンサン祭

射的フース出店！
行列絶えず
大盛況 !!



11/5 京北ふるさとまつり

仲間の事業所を訪れ、
実際の業務を体験 !!



11/22 大人の職場体験

女性部だより

年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えたことと、お慶び申し上げます。

女性部では今年度は、「マルシェで繋がろう京北」をスローガンに活動をしております。女性部が出演協力、主催したイベントとしては、八月十一～十三日の「京北マルシェin駅ビル」、また十一月十一日の「寺マルシェ＆鮭寿司大博覧会」、十二月一日のウッディー京北での「女性部マルシェ」があります。

女性部では今年度は、「マルシェで繋がろう京北」をスローガンに活動をしております。女性部が出演協力、主催したイベントとしては、八月十一～十三日の「京北マルシェin駅ビル」、また十一月十一日の「寺マルシェ＆鮭寿司大博覧会」、十二月一日のウッディー京北での「女性部マルシェ」があります。

ますます京北が発展し、賑わうまちづくりを目指していきますので、地域のみなさまのご協力ご支援を賜りますよう今後ともよろしくお願い申し上げます。

京北商工会女性部 部長 井口 真美



10月12日(木) 晴れ
視察研修旅行
14名でのバスツアーリ
新TASA KI神戸
本店やアクアリウム水族館の見学。お昼はフレンチを堪能しました♪



11月11日(土) 曇り
上の来場者に各ブース
宝泉寺で開催。予想以上
込んだ屋外で、美味しくて体も温まりました。
鍋と「コーヒー」と喜びの声をいただきました。



12月4日(月) 曇りのち晴れ
恒例寄せ植え交流会
集合。花に癒される楽しい時間。終了後
もお茶とお菓子でおしゃべりの花がたくさん咲きました♪



12月2日(土) 曇り時々
初トライ!
女性部マルシェ
道の駅ウッディー京北にて開催。7名が参加。笑顔満開の接客でいつもはお会いできなお客様と繋がりました♪



京北観光の夜明け

昨年8月に設立された京北観光連絡会。京北地域に復活した観光振興を目的とする団体です。創設メンバーの一人であり、代表の井口和司さん（井口木材・株）京北木こりヴィレッジ代表取締役）に設立の経緯や活動内容、また京北への想いについてお聞きしました。

観光連絡会を設立しようと思われたきっかけを教えてください。



京北観光連絡会役員の方々

たいとの思いからです。その後TV取材を積極的に受け、情報発信に努めました。反響は大きく京北の魅力を再発見できましたが、浮かびあがってきた課題は“継続的で双方向的な観光窓口の必要性”です。京北地域には観光メインの団体がありません。事業所や店舗が個々に情報発信するだけでは十人十色の需要を満たすことは困難です。人が集まれば点と点が線となり、それが動き出すことで大きな波と

なる。まずは地域の中で横の繋がりをもつことが京北観光発展のためには重要だと強く感じ、会の立ち上げに繋がりました。七月から賛同会員の募集を開始し、八月末には設立総会を開催できました。観光に関わる事業所や商工会員さん、関係団体に限らず、個人で登録をしてくださった方が十五人もいることに、地域内での関心の高さを実感しています。

2024年の活動について
お聞かせください。

最後に京北にお住まいの皆様に
メッセージをお願いします。

是非とも地元観光をしてほしいのです。生まれ育ち、仕事を営む視点では当たり前のこと過ぎて、地域から評価を得ている「長い歴史で育まれた豊かさ」を感じられないかもしれません。史跡名勝ではなくても、身の周りで自分だけのお気に入りがあれば、それが一人ひとりのふるさとの誇りとなります。すぐそばにある地域の魅力を大切に、それらを守っていきたいと望む人達と手を繋ぎたい。京北観光連絡会がそのような想いを持ちある土台を創れればと思います。今後とも当会の活動にご理解と協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。



10月に第1回交流会が開催されました

たから 故郷はすぐそばに 京北のお宝発見

＼四季のうつりかわり／



各地に伝承されている行事／



●小塩の上げ松

小塩地区では盂蘭盆となる8月23日に最も近い土曜日の夜、愛宕神社に献灯するために行われる火の祭典「上げ松（あげまつ）」を行っています。小さな松明に縄をつけて振り回し、高さが16メートルも上の燈籠木（とうろぎ）に結え付けた傘を逆さにしたような形状のモジめがけて放り上げていきます。京都府登録無形民俗文化財。

●矢代田楽

矢代地区の日吉神社には室町時代に都を中心に流行した田楽躍が伝承されています。稲作の豊穣を願い、笛や太鼓を鳴らして歌い舞ったものが始まりとされています。動きがかなり激しく、芸能史的にも田楽躍の特色をよく伝えていることから価値が高い伝承です。この矢代田楽は10月15日の秋祭りに奉納されます。京都府指定無形民俗文化財。

●山国神社の神幸祭

10月の第2日曜日に行われる山国神社の還幸祭は、山国隊軍楽保存会による軍楽演奏や御輿等の祭礼行列が山国地区を練り歩く勇壮なものです。その前夜には神幸祭が行われます。飛び地境内社の御靈神社から御輿、剣鉾3基が出発して氏子地域の神社を巡回し、松明が並ぶ本社に向かいます。山国隊軍楽は京都府登録無形民俗文化財。

今回掲載した情報は一部であり、まだまだ「お宝」は身近なところにたくさんあります。
皆さんのとっておきな情報もぜひ教えてください！

京北観光連絡会

連絡先／090-6795-9395

LINE公式アカウント



「いけいけ、けいほく！京都京北ナビ」



京北の情報が
盛りだくさんな
こちらのサイトも
チェック✓

(有)山国さきがけセンター



山国地域に店舗と工場を構え、お味噌や納豆、お餅等を製造販売されている(有)山国さきがけセンターさん。この度、田中章仁社長にお話をうかがい、特別によもぎもち作り体験をさせていただきました。



Q 会社の成り立ちについて教えてください

本社の店舗はもともと京北農協の山国支店でした。平成13年、京都農協の合併に伴い、廃店となった店舗を活用し、味噌や納豆餅など地域の伝統食品を商品化し販売する会社としてスタートしました。

Q 一押し商品は何ですか？

納豆餅を商品化した「あみがさ納豆もち」です。餅に納豆を練り込んだものは各地にありますが、餅で納豆を包むものは京北だけです。京北地域以外のお客様からも好評をいただいております。

Q 今後の展望をお聞かせください

新しいアイデアを取り入れながら地域で採れた食材にこだわり、商品開発を進めてまいります。また事業活動を継続することで地域雇用の拡大、休耕地対策に取り組み、地域活性化に貢献していきたいと考えています。



よもぎもち作り 体験レポート



編集後記

京北を想い、大切にしていく社風、また楽しそうな従業員さんの雰囲気が印象的でした。京北の皆さん、ちょっとといっぷくに、ご家庭の食卓に、そしてお土産に、山国さきがけセンターの地元特産品はいかがでしょうか。

店舗から約50メートル離れた「工房しゃくなげ」が製造工場です。多い時には一日に5,000個もの餅が製造されます。機械でつきたがった餅が4名の職員さんの手によって次々と丸められ、梱包され商品となっていきます。そのスピードに驚愕！とにかく早い！！私たちの質問に答えながらもその手は止まりません。そして体験スタート。まず大きな餅から一定のサイズに取り分けるのですが、これが上手くいきません。足したり減らしたり苦戦していると「餅がさめますよ！」との指摘。次は餡子を入れて餅を包みます。柔らかい餅は均等な厚みで包むことが難しく、変な筋ができたり、はみ出たりと一つ作るのに職員さんの何倍も時間を要しました。見るのとやるとでは大違い、熟練の技を実感した体験となりました。

パート・アルバイト募集中（65歳まで）

農業生産法人 有限会社山国さきがけセンター

所在地／京北塔町宮ノ前 23

電話／075-853-0572

営業時間 /9:00～17:00 定休日 / 土・日・祝